

甲府市地球温暖化対策実行計画  
(区域施策編)  
平成30年度年次報告書

令和2年2月  
甲 府 市

# 目次

## 第1章 甲府市地球温暖化対策実行計画について

1	実行計画の目的	1
2	実行計画の位置づけ	1
3	実行計画の計画期間	1
4	目標年次と削減目標	1
5	対象とする温室効果ガスの種類	2
6	対象とする部門	2
7	重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）	2
8	関係者の役割	3

## 第2章 2018（平成30）年度の施策の実施状況

1	重点プロジェクト（6つのアクションプラン）進捗状況	4
2	重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）取り組み状況	12

## 第3章 施策の検証

1	実行計画の推進体制	38
2	甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会からの意見	39

## 【資料】

(1)	甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会委員名簿	41
(2)	平成28年度からの重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）	42

## 第1章 甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

### 1 実行計画の目的

- 「甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（以下「実行計画」という。）は、平成20年6月に一部改正された「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、区域の自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の抑制等を行うための施策に関する事項を定めたものです。
- 市民、事業者、行政等の多様な主体の参加・連携により、地域特性に応じた地球温暖化対策の取り組みを推進し、まちづくりの基本目標の一つである「自然と都市機能が調和する快適なまちをつくる（環境）」〈第六次甲府市総合計画〉の実現を目指すとともに、地球温暖化対策及び省エネルギー対策に貢献することを目的としています。

### 2 実行計画の位置づけ

- 実行計画は、平成18年度に策定された「新甲府市地球温暖化対策推進計画」を引き継ぐとともに、策定にあたっては本市の総合的かつ計画的な行政運営の指針である「第六次甲府市総合計画」のもと、本市の環境に配慮した施策を展開していくうえで最も基本となる「第二次甲府市環境基本計画」を上位計画とし、都市整備に関わる施策の体系的指針である「甲府市都市計画マスタープラン」等の関係計画や関係施策との連携を図っています。

### 3 実行計画の計画期間

- 実行計画の計画期間は、中期2030（令和12）年度\*、長期2050（令和32）年度であり、基準年については、2008（平成20）年度としています。

### 4 目標年次と削減目標

- 実行計画の温室効果ガスの排出削減目標は、基準年の2008（平成20）年度比で  
中期目標は、2030（令和12）年度までに、25%削減\*  
長期目標は、2050（令和32）年度までに、80%削減  
としています。

### 5 対象とする温室効果ガスの種類

- 対象となっている温室効果ガスは、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）、メタン（CH<sub>4</sub>）、一酸化二窒素（N<sub>2</sub>O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）、パーフルオロカーボン（PFC）、六フッ化硫黄（SF<sub>6</sub>）です。

※ 「3 実行計画の計画期間」及び「4 目標年次と削減目標」の中期目標について、策定当初は『2020（令和2）年度』に設定していました。

## 6 対象とする部門

- エネルギー起源の温室効果ガスについては、国のエネルギー消費の統計上の分類に合わせて、「産業部門」、「民生家庭部門」、「民生業務部門（民間）」、「民生業務部門（公共）」、「運輸部門」としています。
- 非エネルギー起源の温室効果ガスについては、「工業プロセス分野」、「廃棄物分野」、「農業分野」、「代替フロン等 3 ガス部門」としています。

## 7 重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）

### ・6つのアクションプラン

「2050年の甲府市の姿」と長期目標を念頭におきつつ、2030（R12）年度の中期目標の実現に向けた本市の重点的な取り組み（重点プロジェクト）として、温暖化の原因である温室効果ガスの排出を抑制する「6つのアクションプラン」に取り組めます。

### ・適応策（P35 参照）

6つのアクションプランに取り組んでも温暖化の影響が避けられない場合への対策に取り組めます。

※本実行計画は、東日本大震災直後に策定されたことから、震災以降の社会情勢等の変化を踏まえ、平成 27 年度に計画の全体的な見直しを行いました。

### 気候変動適応法について（平成30年12月1日施行）

近年、気温の上昇、大雨の頻度の増加や、農作物の品質低下、動植物の分布域の変化、熱中症リスクの増加など、気候変動の影響が全国各地で起きており、さらに今後、長期にわたり拡大するおそれがあります。

これまで我が国においては、地球温暖化対策推進法の下で、温室効果ガスの排出削減対策（緩和策）を進めてきましたが、気候変動の影響による被害を回避・軽減する適応策は法的に位置付けられておりませんでした。

気候変動に対処し、国民の生命・財産を将来にわたって守り、経済・社会の持続可能な発展を図るためには、温室効果ガスの長期大幅削減に全力で取り組むことはもちろん、現在生じており、また将来予測される被害の回避・軽減等を図る気候変動への適応に、多様な関係者の連携・協働の下、一丸となって取り組むことが一層重要となっています。

本法律は、こうした状況を踏まえ、気候変動への適応を初めて法的に位置付け、これを推進するための措置を講じようとするものです。

《出典：環境省》

## 8 関係者の役割

### 市民

---

- 市民一人ひとりが、日々の暮らしにおいてエネルギーを大量に消費していることを自覚し、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入や身近なところから実践する省エネルギー行動、地球環境と調和したライフスタイルへの転換など、温室効果ガス排出量削減のための行動に積極的に取り組む役割を担います。

### 事業者

---

- 地域社会の構成員として、自らの企業活動と環境・エネルギー問題との関わりを十分に理解し、これらに留意した企業理念や行動指針を確立するなど、企業市民として地域社会や地域環境の保全に積極的に取り組む役割を担います。

### 学識経験者

---

- 地球温暖化やエネルギー関連の分野の知識を活かし、効果的かつ確実な地球温暖化対策を甲府市全域で取り組めるように助言を行う役割を担います。

### NPO

---

- 各団体の知識や経験、専門性を活かし、日々の暮らしにおいて、地球温暖化対策や省エネルギーの情報提供、再生可能エネルギー施設の設置(市民共同発電等)、普及啓発・環境教育の実施など、市民及び事業者の自発的な取り組みを支援する役割を担います。また、地球温暖化対策に取り組むリーダー的存在となり、市民・事業者・行政との連携の橋渡しの役割を担います。

### 甲府市

---

- 積極的に省エネルギー行動に取り組むとともに、情報提供・相談窓口など、地球温暖化及びエネルギーに関する広報活動、情報提供を行う役割を担います。さらに、生涯学習や子供たちの環境学習などの場の創出に努め、市民の知識を深める機会を提供する役割を担います。
- また、率先して公共施設への再生可能エネルギー導入を行うとともに、市民・事業者による再生可能エネルギー導入に対する支援を行う役割を担います。

## 第2章 2018（平成30）年度の施策の実施状況

### 1. 重点プロジェクト（6つのアクションプラン）の進捗状況

■目標値が定量化されている取り組みの実績については数値、進捗率については％で表し、また、目標値が定量化されていない取り組みの実績については「実施」「未実施」とし、進捗率については「実施：◎」「未実施：×」「一部実施：△」で表しました。

なお、甲府市地球温暖化対策実行計画は平成27年度に見直しを行い、これに伴い目標値を2030（令和12）年度とし、新たな取り組みを平成28年度から行っています。

アクションプラン1 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進				
《人づくり・地域づくり・協働の推進》				
<p>（1）環境教育の推進について、「①幼児・学校教育における環境教育の推進」や、「②地域・家庭における環境教育の推進」では、「太陽エネルギー体験教室」や各自治会や各種団体等を対象に、出前講座などを実施し、目標を達成しています。また、「③甲府市リサイクルプラザの活用」では、目標値はありませんが、環境教室や講座を開催し、環境教育の推進を図りました。</p> <p>次に（2）多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進（産学官民協働の推進）について、「①地域の温暖化防止活動等の推進」では、地域で活動する団体と協働・連携によるイベント等を開催し、目標値を達成しています。また、こうふのecoを活用し市域の温暖化対策の情報発信（甲府市環境コミュニティの活性化）に努めました。「②地域の人材育成」では、山梨県に地球温暖化防止活動員を15名推薦しており、延べ30名の地域コーディネーターの育成を図りました。</p>				
取組	目標値	平成30年度		
		実績	進捗率	
（1）環境教育の推進				
①幼児・学校教育における環境教育の推進	環境教育事業への参加児童数			
	単年度目標値	1,600人/年	2,600人	162.5%
	2030(R12)年度	24,000人	延べ 6,802人	28.3%
②地域・家庭における環境教育の推進	地球温暖化防止関係の出前講座や講習会・イベント等の参加者数			
	単年度目標値	100人/年	164人	164.0%
	2030(R12)年度	1,500人	延べ 387人	25.8%

取組	目標値	平成30年度	
		実績	進捗率
③甲府市リサイクルプラザの活用	甲府市リサイクルプラザを活用した環境教育の推進		
	【目標値なし】	実施	◎
(2) 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進 (産学官民協働の推進)			
①地域の温暖化防止活動等の推進	地域で活動する団体と協働・連携によるイベント等の開催		
	単年度目標値	5回/年	8回
	2030(R12)年度	75回	延べ 13回
			160.0%
②地域の人材育成	地域コーディネーター数 (単年度目標値なし)		
	2030(R12)年度	100人	延べ 30人
			30.0%

アクションプラン2 再生可能エネルギーの導入・普及促進 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》
<p>(1) 太陽エネルギーの活用について、「①太陽光発電システムの導入促進」では、目標を達成できませんでした。これは固定価格買取制度 (FIT) の買取価格低下により、導入台数が減少したものと考えられます。また、「②市民共同発電の推進」や「③太陽熱エネルギーの活用」では、目標値はありませんが、それぞれに設備が導入されており実施しています。</p> <p>次に(2) バイオマスエネルギーの活用について、「①バイオマスエネルギーの活用と普及促進」では、「甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度」の活用により普及促進が図られています。果樹剪定枝の活用においては焼却工場移転に伴い、モデル地区によるぶどうの剪定枝のエネルギー活用事業は、平成28年度で終了しました。</p> <p>(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用、「①地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用」では、目標値はありません。現在は山宮減圧槽に設置した小水力発電が継続実施しています。</p>

取組	目標値	平成30年度	
		実績	進捗率
(1) 太陽エネルギーの活用			
① 太陽光発電システムの導入促進	住宅用太陽光発電システムの導入		
	単年度目標値	1,100t-CO <sub>2</sub> /年	455.07t-CO <sub>2</sub> 41.4%
	2030(R12)年度	16,500t-CO <sub>2</sub>	計 1,403.45t-CO <sub>2</sub> 8.5%
② 市民共同発電の推進	市民、NPO等との連携による推進・市民共同発電設備導入	(1件)	
	【目標値なし】	実施	◎
③ 太陽熱エネルギーの活用	太陽熱エネルギーの活用の推進・太陽熱エネルギー設備の導入		
	【目標値なし】	実施	◎
(2) バイオマスエネルギーの活用			
① バイオマスエネルギーの活用と普及促進	木質バイオエネルギーの活用推進、木質ボイラー・木質ペレットストーブ等の普及促進、バイオマス資源のエネルギー活用の推進		
	【目標値なし】	実施	◎
	果樹剪定枝利用量 平成28年度事業終了		
	単年度目標値	100t/年	— —
	2030(R12)年度	1,500t	計 62.62t 4.2%
(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用			
① 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進	地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進・設備の導入		
	【目標値なし】	実施	◎



アクションプラン3 潤いある森林の整備

《森林整備》

(1) 潤いと光あふれる森づくり(森林整備)について、「①森林整備の推進」では、甲府市森林計画等の進行管理が適正に行われており、目標を達成しています。また、「②県産材等木材の利用促進」や「③森林の保護、育成に関する意識の醸成」では、目標値はありませんが、水源林植樹の集いや農林業まつりなどを開催しました。

取組	目標値	平成30年度	
		実績	進捗率
(1) 潤いと光あふれる森づくり(森林整備)			
①森林整備の推進	森林(市有林、民有林)整備の推進		
	単年度目標値	21,500 t-CO <sub>2</sub> /年	21,500t-CO <sub>2</sub> 100.0%
	2030(R12)年度	322,500t-CO <sub>2</sub>	計 64,500t-CO <sub>2</sub> 20.0%
②県産材等木材の利用促進	県産材等木材の建築物等への利用促進		
	【目標値なし】	実施	◎
③森林の保護、育成に関する意識の醸成	森林環境保全イベント等の開催		
	【目標値なし】	実施	◎

アクションプラン4 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動

《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》

(1) 省エネ行動の普及促進について、「①省エネ行動の普及促進」では、目標値はありませんが、広報こうふ・こうふのecoなどで情報提供をしています。また、「②緑のカーテンづくりの推進」では、緑のカーテンづくりセミナーを開催し、目標を達成しています。

次に(2)低炭素型の移動(スマートムーブ)の推進について、「①エコドライブの推進」では、目標値に達していませんが、安全運転研修で「エコドライブについて」の説明を行い、その後の伝達研修により多数に周知しています。また、「②公共交通機関の利用促進」では、目標値はありませんが、甲府市公共交通体系基本構想の推進による公共交通機関の利便性の向上として、県主催のエコ通勤トライアルウィークへの参加や、山梨県、山梨運輸支局、交通事業者との協働により、やまなし公共交通フェスティバルを開催しています。さらに、公共交通の利用促進のため、サイクル・アンド・ライドの推進に取り組みました。エコ通勤優良事業所は延べ4ヶ所の事業所が認証・登録されています。「③自

転車による環境にやさしい移動の推進」では、目標値はありませんが、「甲府市レンタサイクル事業」において、レンタサイクルを 2,706 台貸出しているほか、こうふの eco で情報提供を行っており普及啓発に努めています。

取組	目標値	平成30年度	
		実績	進捗率
(1) 省エネ行動の普及促進			
①省エネ行動の普及促進	省エネ意識の高揚、醸成及び省エネ機器等の情報の提供、発信エネルギーの見える化による省エネ行動の実践 COOL CHOICE の普及促進		
	【目標値なし】	一部実施	△
②緑のカーテンづくりの推進	緑のカーテンづくりイベント等参加者数		
	単年度目標値	100 人/年	109 人 109.0%
	2030(R12)年度	1,500 人	329 人 21.9%
(2) 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進			
①エコドライブの推進	エコドライブの普及促進講習会等参加者数		
	単年度目標値	100 人/年	85 人 85.0%
	2030(R12)年度	1,500 人	216 人 14.4%
②公共交通機関の利用促進	甲府市公共交通体系基本構想の推進による公共交通機関の利便性の向上		
	【目標値なし】	実施	◎
	エコ通勤優良事業所数		
	2030(R12)年度	15 ヶ所	延べ 4 ヶ所 26.7%
③自転車による環境にやさしい移動の推進	レンタサイクル等の推進及び電動アシスト自転車等の普及促進		
	【目標値なし】	実施	◎

## アクションプラン5 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換

### 《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》

(1) 建物・機器による省エネの推進について、「①省エネ住宅・施設等の普及促進」では、長期優良住宅を282件認定し、目標を達成しています。また、「②省エネ機器の普及促進」では、目標値はありませんが、エネファームなどの省エネ機器に対して助成し、普及に努めています。さらに、「③LED照明の普及促進」では、防犯街路灯・商店街街路灯設置への助成や都市公園照明等の改修工事を実施しています。また、平成30年度から令和元年度の2年間で、スポーツ施設や学校の屋外グラウンド夜間照明のLED化に取り組んでいます。

次に(2) 緑あふれるまちづくり(都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)について、「①都市緑化の推進」や「②農地の活用」、「③建物、道路等のヒートアイランド対策の推進」では、目標値はありませんが、「花いっぱい・緑いっぱい運動」の地域緑化及び「緑化教室の開催」による家庭緑化の推進や荒廃した農地の再生整備、透水性舗装による改良工事などを実施しています。

(3) クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等)の普及促進について、「①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討」では、目標値はありませんが、リサイクルフェアにおいてクリーンエネルギー自動車を展示し普及啓発を行なうとともに、庁用車両にクリーンエネルギー自動車を16台導入しています。「②充電設備の整備、水素ステーションの整備」では、市内に急速充電器9ヶ所、普通充電器30ヶ所が設置されており、電気自動車の普及に向け、今後も充電設備の増加が見込まれます。また、水素ステーションの整備では、市内で1ヶ所が設置されています。

取組	目標値	平成30年度		
		実績	進捗率	
(1) 建物・機器による省エネの推進				
①省エネ住宅・施設等の普及促進	省エネ住宅の普及による温室効果ガス削減量			
	単年度目標値	100t-CO <sub>2</sub> /年	155.10t-CO <sub>2</sub>	155.1%
	2030(R12)年度	1,500t-CO <sub>2</sub>	延べ 443.85t-CO <sub>2</sub>	29.6%
②省エネ機器の普及促進	トップランナー制度の情報提供省エネ機器の導入によるCO <sub>2</sub> 削減の推進			
	【目標値なし】		実施	◎

取組	目標値	平成30年度	
		実績	進捗率
③LED照明の普及促進	公共施設等への率先的なLED照明の導入による普及促進 (単年度目標値なし) H30年度：131.26t-CO <sub>2</sub> (参考)		
	2030(R12)年度 4,500t-CO <sub>2</sub> (H24年度から)	延べ 619.14t-CO <sub>2</sub>	13.8%
(2) 緑あふれるまちづくり(都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)			
①都市緑化の推進	都市緑化の推進(緑化植樹イベントの開催)道路・建物のヒートアイランド対策の推進 【目標値なし】	実施	◎
	耕作放棄地の有効活用 【目標値なし】	実施	◎
③建物、道路等のヒートアイランド対策の推進	建物等のヒートアイランド対策の推進 (舗装面積 387.7 m <sup>2</sup> )		
	【目標値なし】	実施	◎
(3) クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等)の普及促進			
①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討	クリーンエネルギー自動車の普及のための情報提供及び導入促進 【目標値なし】	実施	◎
	充電設備の整備 (単年度目標値なし)		
②充電設備の整備、水素ステーションの整備	2030(R12)年度 急速充電器： 市内 20ヶ所	急速充電器： 9ヶ所	45.0%
	普通充電器： 市内 50ヶ所	普通充電器： 30ヶ所	60.0%

アクションプラン6 持続可能な循環型社会の構築

《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》

(1) 廃棄物の3R (Reduce (発生抑制) Reuse (再利用) Recycle (再資源化))の推進について、「①分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進」では、生ごみ処理機の購入補助と広報等による普及活動を実施しましたが、目標値に達していません。また、「②資源物排出の利便性の向上」では、目標値はありませんが、甲府市自治連合会と連携を図るなかで24時間ステーションの設置について協議しましたが、設置までに至りませんでした。「③バイオマス資源の循環による活用」においても、目標値はありませんが、生ごみ処理機の購入補助及び、EMボカシ・しんぶんコンポストキットの無料配布や廃食油の回収などを実施しています。

取組	目標値	平成30年度								
		実績	進捗率							
(1) 廃棄物の3R (Reduce (発生抑制) Reuse (再利用) Recycle (再資源化))の推進										
①分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進	生活系家庭ごみの減量、プラスチック製容器包装の分別回収									
	生ごみ処理機等の普及									
	<table border="1"> <tr> <td>単年度目標値</td> <td>140件/年</td> <td>66件</td> <td>47.1%</td> </tr> <tr> <td>2030(R12)年度</td> <td>2,100件</td> <td>延べ 179件</td> <td>8.5%</td> </tr> </table>	単年度目標値	140件/年	66件	47.1%	2030(R12)年度	2,100件	延べ 179件	8.5%	
単年度目標値	140件/年	66件	47.1%							
2030(R12)年度	2,100件	延べ 179件	8.5%							
②資源物排出の利便性の向上	資源物24時間ステーションを段階的に設置									
	【目標値なし】	未実施	×							
③バイオマス資源の循環による活用	バイオマス資源の循環による活用									
	【目標値なし】	実施	◎							

# アクションプラン1

環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進

《人づくり・地域づくり・協働の推進》

イチオシの取り組み 

●教育課程における環境教育の中で、甲府市の重点プロジェクトを学ぶ時間を位置付ける【甲府市公立小中学校長会】

《内容》

市内小中学校では各学校の教育課程に環境に関する全体計画を作成し、それに基づき、各教科、総合的な学習の時間で学習する内容に環境教育、エネルギー学習とリンクする部分に対して、外部講師の要請や、施設見学、体験活動への参加など重点プログラムにつながる内容を取り入れて学習しています。

《ポイント》

各教科学習の中で、直接に環境問題や、エネルギーのことについて学習するものがあります。また、総合的な学習の時間として、環境をテーマにしてカリキュラムをつくる学校もあります。大きな目的の一つに、小学校では社会生活や自然と関わりながら環境を大切にしていこうと学習し、中学校では、持続可能な社会の構築に向けて地球規模での環境保全に貢献する人づくりを目指しています。

小学校での学習の例として、社会では、ごみの問題や水の問題を身近な生活の中で調べたり、外部講師をお願いしたり、施設見学を行ったりしています。理科では、再生可能エネルギーの学習や光電池を使った実験、エネルギーの節約のために、プログラム学習としてセンサーを利用した節電の学習、燃焼の仕組みや植物の光合成の学習から森林のはたらきを学びます。総合的な学習の時間では、ゴミの分別や家庭でのエネルギー消費について調べ、生活を見直すためのきっかけ作りの学習など、工夫して取り組んでいます。

また、児童会活動として、節電週間の設定や、エコキャップ集め、牛乳パック回収などに取り組んでいます。





## (1) 環境教育の推進

### 《取り組みの内容》

#### ① 幼児・学校教育における環境教育の推進

##### <本市の取り組み>

- ◆市内小中学校の学校林活動への協力(森林体験) :実施 5 校、参加者数 518 名
- ◆市内小中学校環境教育の推進 :実施 36 校
- ◆出前講座の開催(森林と水) :実施数 2 回、参加児童数 43 人
- ◆保育園・幼稚園児対象のペープサートの上演 :実施 15 園、参加園児数 1,183 名
- ◆市内小学生を対象とした「太陽エネルギー・自然エネルギー体験教室」  
:実施校 9 校、参加児童数 501 名(NPO 法人みどりの学校との協働)
- ◆環境教育副読本『環境にやさしい街 甲府』の作成・配布 :市内小学校 4 年生に配布 1,800 冊
- ◆ごみへらし隊による保育園・幼稚園・小学生を対象とした環境教育講座の開催  
:開催数 77 回、参加者数 4,117 人

##### <市民、事業者、NPO の取り組み>

#### 【山梨交通株式会社】

- ◆小学校低学年・支援学校生を対象とした「出前授業」乗車体験  
:参加学校数 11 校(甲府市内 3 校)、参加児童・生徒数 591 名

#### 【甲府市公立小中学校長会】

- ◆目指す「2050 年の甲府市の姿」を多様な方法により、あらゆる教育現場に活かし、児童・生徒に未来イメージ化を図る :実施数 30 校
- ◆循環型エネルギー施設・設備の設置によりミニスマートライフ、省エネを日常的に体験させる  
:実施数 29 校
- ◆教育課程における環境教育の中で、甲府市の重点プロジェクトを学ぶ時間を位置づける  
(1、2 年は生活科、3 年は総合、4 年は社会、総合、5、6 年は理科、総合) :実施数 28 校
- ◆児童会活動の中で、環境問題に取り組む活動の実施  
(エコキャップ集め、ごみの分別、牛乳パック回収、ごみ拾い愛町奉仕作業等) :実施数 31 校
- ◆環境教育の継続実施と見直し :実施数 31 校

#### 【NPO 法人みどりの学校】

- ◆幼稚園・保育所・学校等における環境学習会の開催 :実施数 9 回、参加児童数 501 人

#### 【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆エコ×エネ子どもキャンプ(やまなし環境財団委託事業)  
森の中での楽しみながらの体験を通して、地球温暖化防止の必要性和大切さを学ぶ教室の実施(山梨県内の小学 4 年生～中学 3 年生対象) :実施数 1 回、参加児童・生徒数 24 人

#### ② 地域・家庭における環境教育の推進

##### <本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策地域協議会との協働によるセミナーやイベントの開催

:開催数 4回、参加者数 約8,600人

◆ごみへらし隊による各自治会や各種団体等を対象に、出前講座(ごみへらしま専科)の開催

:開催数 62回、参加者数 2,505人

◆リサイクルフェアにおいて「もってけ市」の開催 :参加者数 800人

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【甲府商工会議所】

◆環境問題に取り組む「人づくり」と環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の促進を目指す「eco検定」の実施 :実施数 2回、受験者数 101人

【甲府市公立小中学校長会】

◆事業者やNPOと連携し、専門性を活かした出前授業や体験学習の充実(環境問題に関する)  
:実施数 21校

◆家庭や地域との連携による、荒川河川敷清掃、家庭でのクリーン作戦、地域の清掃活動の実施  
:実施数 30校

【生活協同組合パルシステム山梨】

◆環境関連出前講座の実施

「手漉きハガキ」、「自然派!お掃除」

:講座の開催 3回、参加者数 222人(全県で 20回開催、参加者数 734人)

【NPO 法人みどりの学校】

◆地域における環境学習会の開催

工作教室等をはじめとするワークショップや、太陽エネルギー他自然エネルギー体験学習を開催

:開催数 4回、参加者数 155人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

◆甲府市環境教育プログラムへの協働

「緑のカーテン」づくりセミナー、地球温暖化に関する講演会を協働で実施

:実施数 2回、参加者数 161人

◆環境教育に関するイベントの実施

夏休みに親子で参加できるエコ工作教室を実施 :実施数 1回 参加者数 44人

### ③ 甲府市リサイクルプラザの利用推進

<本市の取り組み>

◆リサイクルプラザの利用の推進

環境教育に関する教室や講座の開催や展示コーナーの開設、地域及び各種団体等へ利用の推進

:リサイクルプラザ総利用者数 77,025人

(体験型学習会 開催数 6回、参加者数 173人(NPO 法人みどりの学校))



<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

◆リサイクルプラザを活用しての啓発活動

ミニソーラー工作教室等をはじめとするワークショップや自然エネルギー体験学習を開催

:開催数 6 回、参加者数 173 人

## (2) 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進(産学官民協働の推進)

《取り組みの内容》

### ①地域の温暖化防止活動等の推進

<本市の取り組み>

◆事業者・NPO等との協働による環境教育プログラムの実施

:開催数 6 回、参加者数 277 名

◆甲府市地球温暖化対策地域協議会との協働で、「緑のカーテン」づくりセミナー、「地球温暖化防止推進セミナー」を開催 :実施数 2 回、参加者数 161 名

◆甲府市環境コミュニティの活性化

温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、省エネ行動についての情報提供

:ホームページアクセス件数 2,304 件

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

◆地球温暖化対策地域協議会他、地域の団体等との協働による地球温暖化防止の推進

甲府市温対協、やまなしエコネットワーク、甲府市リサイクルプラザなどと協働で地球温暖化防止のイベントを行う中で体験教室の開催 :開催数 4 回、参加者数 390 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

◆山梨県内の環境関連団体等との連携の拡大 :参加数 3 回

① 県内の地球温暖化対策地域協議会との交流会(中央市)の参加

②ヴァンフォーレ甲府の試合前に啓発活動の実施

③ エコプロダクツ 2018 への参加

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

◆山梨県環境教育ミーティングの実施 :開催数 1 回、参加者数 69 名

◆山梨県内の地域協議会同士の情報交換会の実施 :開催数 1 回

### ②地域の人材育成

<本市の取り組み>

◆山梨県に地球温暖化防止活動員を推薦することで人材育成を図った。

:コーディネーター数 平成 30 年度 15 人 延べ 30 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆環境省家庭エコ診断制度、「うちエコ診断士」として1名が継続し登録

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆地域の他団体との協働による人材育成

山城地区や石田地区と協働での、地域住民に向けての地球温暖化防止学習会、自然エネルギー体験教室等の開催に向けた協議を行った。

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆地球温暖化防止活動推進員及び、関連活動を実施している人を対象とした研修会の開催  
:開催数 2回、参加者数 65人

## アクションプラン1の課題

<本市の課題>

- ◆出前講座(森林と水)の開催については、今後も継続して実施していくが、学校のカリキュラムがタイトであることから実施方法の検討が必要である。

<市民、事業者、NPO の課題>

【甲府市立公立小中学校長会】

- ◆環境についての細かい取組を各学校で行っており、一つ一つの取組は「2050年の甲府市の姿」に繋がるものと期待される。しかし、「2050年の甲府市の姿」という長期的なゴールを意識していない所もあるので、「2050年の甲府市の姿」という一つのゴールについて統一していくように明確化することを考えたい。
- ◆各学校の環境や特色を生かして、様々な環境教育に日常的に取り組んでいるが、学校間の横の繋がりを持ち情報を共有することで、取組に広がりが出てくるのではないかと。

## アクションプラン2

### 再生可能エネルギーの導入・普及促進

《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》

#### イチオシの取り組み

#### ●太陽熱温水器の有効性についてのノウハウの提供

##### 【NPO 法人みどりの学校】

##### 《内容》

環境学習会の地球温暖化についてのレクチャーの中で、太陽熱利用の有効性について紹介しています。太陽エネルギーの利用には、発電だけではなく、太陽熱を直接利用する方法があります。太陽熱利用は昔から使われているシステムで、20～30年程前には、ソーラーという「太陽熱温水器」を指していたことや、太陽熱を実際に利用した方の感想などを加えながら、有効性や効率性を伝えています。

#### 太陽光発電



#### 太陽熱利用



自然エネルギー利用＝再生可能エネルギー利用

##### 《ポイント》

甲府市内小学校で行っている、「太陽エネルギー全般を学ぶ学習会」等の中で、太陽光発電、太陽熱調理器（ソーラークッカー）の体験学習を合わせて行うことで、太陽光発電と太陽熱利用の比較ができるように工夫しています。

### (1) 太陽エネルギーの活用

#### 《取り組みの内容》

#### ①太陽光発電システムの導入促進

##### <本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度(住宅用太陽光発電システム導入に対する助成)

:助成件数 183 件、総出力量 960.06kw

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆太陽光発電システムの使用【パイオニア・マイクロ・テクノロジー(株)、パナソニック ファクトリーソリューションズ(株)、横河マニュファクチャリング(株)、(株)サンニチ印刷、(株)東日製作所】  
:発電量 計 1,106,739kwh、パネル枚数 5,324 枚

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆P2G(Power to Gas)システムの技術開発及び実証研究への参画  
山梨県、東レ(株)、(株)東光高岳と協定を締結し、米倉山太陽光発電所において、CO<sub>2</sub>フリーの水素エネルギー社会実現に向けた P2G(Power to Gas)システムの技術開発及び実証研究へ参画した。
- ◆連系不可送配電設備の解消  
送配電設備容量不足による連系不可設備の改修工事を計画に沿って進める。:計画進捗率 100%

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆各種イベント等で住宅用太陽光発電の啓発活動 太陽光発電システム導入やエネルギーの賢い使い方  
のノウハウの提供 :実施数 23 回、参加者数 1,183 人

【パルシステム山梨】

- ◆FIT(再生可能エネルギー)電力中心の「パルシステムでんき」の普及  
:契約数(甲府市内) 150 件(山梨県内 695 件)

② 市民共同発電の推進

<本市の取り組み>

- ◆「甲府市市民立共同発電事業助成金制度」により、NPO 等が実施する自然エネルギー発電設備を設置  
運営した費用の一部を助成し、CO<sub>2</sub>削減の推進 : 1 件「山城地区市民立共同発電所」  
年間発電量 7,315kWh、二酸化炭素削減量 3.47t-CO<sub>2</sub>(電気事業者別調整後排出係数 0.000474 使用)

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆市民立共同発電所の取り組みについての情報提供  
甲府市南部市民センターの山城地区市民立共同発電所を活かした学習会を開催  
:開催数 1 回、参加者数 10 人 ※年間発電量 7,123kwh、二酸化炭素削減量 3.00t-CO<sub>2</sub>

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆光の森こども園太陽光発電施設の活用 :年間発電量 11,155kwh、二酸化炭素削減量 5.29t-CO<sub>2</sub>
- ◆太陽光発電、太陽光熱利用の新規共同施設の建設に関する検討 :検討数 2 回

③ 太陽熱エネルギーの活用

<本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度(高効率給湯器等への助成) :助成件数 286 件

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆太陽熱温水器の有効性についてのノウハウの提供  
各種学習会・イベントにて太陽熱温水器の利用促進のための情報提供  
:実施数 20 回、参加者数 1,069 人
- ◆市民共同の太陽エネルギーの活用  
公共施設への市民立共同熱供給設備装置設置の検討

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆太陽熱エネルギー利用(ソーラークッカー)の促進  
エコ工作教室の開催、環境リサイクルフェアで太陽熱エネルギーの利用に関するブースの出展  
:来場者数 110 人

## (2) バイオマスエネルギーの活用

《取り組みの内容》

### ① バイオマスエネルギーの活用と普及促進

<本市の取り組み>

- ◆汚泥焼却炉における重油(化石燃料)を代替エネルギー(木質系補助燃料[ペレット])に転換  
:代替エネルギー転換率 62.2%(ペレット使用量 82t)
- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度(木質ペレットストーブ導入に対する助成)  
:助成件数 11 件
- ◆バイオマス資源の活用 :木質バイオマスの事業化は需要量や費用対効果を考慮すると難しい状況。  
引き続き他市等の動向を注視する。
- ◆果樹剪定枝等の活用 :焼却工場の移転に伴い、ぶどうの剪定枝のエネルギー活用が出来なくなったため特別収集は終了した。モデル地区において、ぶどうの剪定枝の持込受付を実施し 41 名の利用があった。

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆木質ペレットストーブの使用 :1 台(既存)継続使用(一宮センター)

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆廃食油回収、各種学習会等で木質バイオマス利用の啓発活動  
:実施数 22 回、参加者数 1,139 名

【やまなし木質バイオマス協議会】

- ◆木質バイオマスエネルギー利用施設見学会の開催(事業者向け) :参加者数 38 人
- ◆木質バイオマスエネルギー利活用の相談窓口 :実施件数 3 件
- ◆木質バイオマスストーブの普及啓発  
森林のフェスティバル、環境リサイクルフェアで展示や実演による木質バイオマス利用の PR 活動  
:参加者数 約 20,000 人
- ◆未利用(切捨て間伐材、市場等の端材、製作所のおがくず)な木質資源の活用提案 :提案件数 3 件

### (3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用

#### 《取組みの内容》

#### ① 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用

##### <本市の取組み>

- ◆上下水道における再生可能エネルギーの利活用として、山宮減圧槽(小水力発電)の運営  
: 二酸化炭素削減量 595.97t-CO<sub>2</sub>削減(平成30年度総発電量 1,257,321kwh)
- ◆上下水道施設における再生可能エネルギーの利活用検討  
「甲府市上下水道事業経営戦略」のなかで再生可能エネルギー利活用の推進に向け、電力会社と協議を進めた。また、事業推進のための情報を収集した。

##### <市民、事業者、NPOの取組み>

#### 【東京電力】

- ◆水力発電所の高効率発電機への更新 : 芦川第三発電所については平成30年12月運用を開始し、早川第三発電所については、令和2年7月の運用開始に向け、計画に沿って進んでいる。  
: 計画進捗率 100%

#### アクションプラン2の課題

##### <本市の課題>

- ◆太陽光発電の普及は今後も必要であるが、電気を貯めておく蓄電についての情報提供が必要である。
- ◆バイオマス資源の活用について、木質バイオマスの事業化は需要量や費用対効果を考慮すると事業実現性は乏しいという結論に至った。引き続き他市などの動向に注視する中で情報の収集を行う。

##### <市民、事業者、NPOの課題>

#### 【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆東京電力グループ(東京電力ホールディングス)としても、再生可能エネルギー事業の主電源化に向けた取組みを進めており、水力および新エネルギー発電事業を担うグループ会社(リニューアブルパワー・カンパニー)において、水力発電所の増容量や効率化などを含めた再生可能エネルギーの導入・拡大を展開している。
- ◆東京電力パワーグリッドとしては、再生可能エネルギーの系統連系を担当しているが、設備容量不足箇所に対しては、国のスキームに則った対応をしているところである。



## アクションプラン3

### 潤いある森林の整備

《森林整備》

#### イチオシの取り組み

#### ●森林を利用した環境教育の推進【甲府市】

##### 《内容》

甲府市では、森林を利用した体験学習や林業体験等の環境教育を推進するため、普段自然に触れ合う機会のない子供たちに、間伐体験やネイチャーゲームなどの体験を通じて、自然の大切さを学んでもらうことで、森林の保護・育成に関する意識の醸成を図っています。



##### 《ポイント》

森林資源は、木材の供給はもとより、水源かん養、災害防止、生物多様性の保全及び二酸化炭素の吸収等の公益的な機能を有しています。



この多様な機能を有する森林を守り育て、次世代に引き継ぐためには、適切な森林整備と共に森林資源を活用した環境教育を行い、森林に公益的機能や自然の大切さを伝えていくことが大切です。

### (1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）

#### 《取り組みの内容》

#### ①森林整備の推進

##### <本市の取り組み>

- ◆甲府市有林(人工林)の間伐事業 : 間伐面積 9.20ha
- ◆民有林の人工林整備の実施 : 造林面積 0.48ha、下刈面積 6.49ha
- ◆森林病虫害防除事業の実施  
: <くん蒸処理数量 545.20 m<sup>3</sup>、薬剤処理数量 30.10 m<sup>3</sup>、枯損木処理数量 43.60 m<sup>3</sup>
- ◆間伐材の有効活用の促進 : 販売数量 111.64 m<sup>3</sup>

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【中央森林組合】

- ◆間伐整備(甲府市の民有林で間伐材の搬出) :搬出材積 800 m<sup>3</sup>
- ◆民有林の下草刈り :下草刈り面積 6.49ha
- ◆里山林整備  
荒廃した里山など、間伐整備により、健全な森林に再生 :再生面積 14.19ha

② 県産材等木材の利用促進

<本市の取り組み>

- ◆公共施設への県産材等木材の利用について、温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で紹介

③ 森林の保護、育成に関する意識の醸成

<本市の取り組み>

- ◆「水源林植樹の集い」の開催、奥御岳市有林内での植樹活動  
:参加者数 413 人、植栽面積 0.30ha、植栽本数 900 本
- ◆森林を利用した環境教育の推進  
自然とふれあいながら間伐体験やネイチャーゲームを体験する環境教育の実施  
:参加団体 2 団体、参加者数 82 人
- ◆農林業まつり(木工体験コーナー)で、親子で木工体験を通じ、木の温かみや大切さを学ぶ  
:参加者数 300 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【やまなし木質バイオマス協議会】

- ◆地域の間伐材を利用した薪づくり  
森林組合と協力して丸太の側材や、用材として使用できない未利用な木材を利用した薪づくりを年間通して行い、持続可能で安定的な需給体制の構築を次のステップとして目指す :参加者数 10 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆森林整備に関するイベント「水源林植樹の集い」に参加 :参加者数 8 名

アクションプラン 3 の課題

<本市の課題>

- ◆住宅や家具などへ県産材等木材の利用を推進し、木材の地産地消、木材資源の有効利用を図るためには、「こうふの eco」での紹介だけでなく、新聞・テレビ・ラジオの取材などを活用し、多くの市民に PR してことが必要である。
- ◆地域材の使い方を、今後どうしていくか、また、甲府市で木材資源をどう活用していくことが出来るか検討していく必要がある。



<市民、事業者、NPO の課題>

【中央森林組合】

- ◆民有林の森林整備において、所有者が高齢などのため、境界が不明なところがあり、整備ができない場合がある。

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆甲運小学校では、公益財団法人オイスカ山梨県支部の協力により、森の積み木広場の活動を行っているところであるが、甲府市の間伐材や地域材を活かした活動も推進していきたい。

## アクションプラン4

### 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動

#### 《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》

#### イチオシの取り組み

#### ● サイクル・アンド・ライド事業の推進【甲府市】

##### 《内容》

バス路線が充実しているバス停周辺の施設内（※1）にサイクル・アンド・ライド駐輪場を設置することで、公共交通利用者の利便性向上を図っています。

※1 県の3施設（山梨県福祉プラザ、山梨県立美術館、山梨県青少年センター）、市の3施設（北公民館・図書館・総合市民会館）及びその他の1施設（山梨県自治会館）

##### 《ポイント》

通院・通学や買い物などの際に、マイカー利用を控えて環境負荷の少ない路線バスを利用することで、地球温暖化の抑制や省エネにつながります。



### （1）省エネ行動の普及促進

#### 《取り組みの内容》

#### ① 省エネ行動の普及促進

##### <本市の取り組み>

- ◆ 広報こうふ「スマートライフ通信」の掲載や温暖化対策情報サイト「こうふの eco」による情報提供  
: 広報こうふ掲載数 6 回（隔月）

##### <市民、事業者、NPO の取り組み>

#### 【国母工業団地工業会】

- ◆ 生産ラインにおけるエネルギー無駄ゼロに導く IT 活用事業による年間購入電力の削減  
: 実施事業所数 13 社

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆東京電力 HP や関係機関などで、省エネに関する情報提供

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆うちエコ診断の実施 : 診断件数 15 件

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆環境イベント等での普及啓発

環境リサイクルフェア、市民向けセミナー等の実施 : 参加者数 315 人

- ◆協議会のウェブサイトにおいて、イベント等の情報更新による周知 : サイトへのアクセス数 1,164 回

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆全国地球温暖化防止活動推進センター 統一アンケートを各種イベントや教室時に実施

: アンケート調査件数 455 件

- ◆「地球温暖化防止まずはこんなところから」シート等を関係機関等への資料配布 : 配布件数 210 件

② 緑のカーテンづくりの推進

<本市の取り組み>

- ◆緑あふれるまちづくり(緑のカーテン)の推進

: 苗の配布数 幼稚園等 936 本、小学校 504 本、公共施設 356 本 合計 1,796 本

: 緑のカーテンセミナー参加者数 109 人

- ◆市立甲府病院の壁や窓、上下水道局本庁舎南側に緑のカーテンを設置

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆ぶどう等による緑のカーテンづくりの実施 : 参加企業 8 社、カーテン面積 277 ㎡

【甲府市農業協働組合】

- ◆ゴーヤによる緑のカーテンづくりの実施 : 設置店数 3 店

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆学校等における緑のカーテンづくりの実施 : 実施校数 24 校

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆事業所(本部、甲府センター、一宮センター、西桂センター)での緑のカーテンの実施

: 実施事業所数 4 事業所

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆緑のカーテン、屋上緑化、緑化透水性舗装等の啓発活動 : 実施数 9 回、参加者数 495 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆緑のカーテンの普及促進

緑のカーテンセミナーの開催し、参加者へゴーヤ苗を配布

協議会で栽培した苗を学校・公共施設等に配布、緑のカーテンの実践と普及啓発活動の実施

: 緑のカーテン実施本数(配布数) 2,416 苗

### ③甲府市（事務・事業）の率優先的取組み

<本市の取組み>

- ◆庁内施設のエネルギー単位の削減:基準年度(平成 25 年度)と比べ、平成 29 年度は 10.4%の減

## (2) 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進

《取組みの内容》

### ①エコドライブの推進

<本市の取組み>

- ◆市職員に対し、安全運転研修においてエコドライブについての啓発を実施 :参加者数 85 人
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で、エコドライブの実施方法の情報提供

<市民、事業者、NPO の取組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆エコドライブの普及啓発活動(各種学習会での情報提供等) :開催数 9 回、参加者数 495 人

### ②公共交通機関の利用促進

<本市の取組み>

- ◆やまなしエコ通勤トライアルウィークへの参加 :延べ参加者数 997 人
- ◆山梨県、バス・鉄道事業者等と共催により、公共交通の利用促進のためのイベントを開催  
:実施数 1 回 来場者数 5,000 人
- ◆分かりやすい公共交通情報の提供として、市民が便利なバス情報を活用できるやまなしバスコンシェルジュの普及啓発 :キャンペーン数 1 回
- ◆公共交通に対する地域主体の取組みを支援するため、地区説明会を実施 :実施地区数 4 地区
- ◆サイクル・アンド・ライドの推進 :駐輪場の設置数 7 施設
- ◆「エコ通勤優良事業所認証制度」について、温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で周知・普及促進活動

<市民、事業者、NPO の取組み>

【山梨県バス協会(山梨交通株式会社)】

- ◆山梨県バス総合案内システム「やまなしバスコンシェルジュ」の運営  
携帯端末に加えて、新たに甲府駅南口でデジタルサイネージでの情報提供、システムの利便性と認知度の向上を図り、路線バスの利用促進に繋げた。 :サイトへのアクセス件数 約 35,515(件/月平均)

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆「エコ通勤奨励制度」において、エコ通勤の実施による CO<sub>2</sub>削減  
:参加者延べ数 4 人(172.7kg-CO<sub>2</sub>削減)

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆公共交通利用の情報提供 :実施数 9 回、参加者数 495 人

### ③自転車による環境にやさしい移動の推進

<本市の取り組み>

- ◆電動アシスト自転車の貸与による「甲府市レンタサイクル事業」：貸出台数 2,706 台
- ◆地球温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で甲府市レンタサイクル事業等について情報提供

### アクションプラン4の課題

<本市の課題>

- ◆甲府市では、日常生活における移動手段が自動車中心なので、更なるエコドライブ実践の啓発や公共交通機関の利用促進についての取組が必要である。

<市民、事業者、NPO の課題>


【甲府市公立小中学校長会】

- ◆省エネ行動として緑のカーテンづくりに取り組んだが、台風や猛暑の影響のため、例年のようなカーテンには育たなかった。

## アクションプラン5

賢く、快適な低炭素型都市構造への転換

《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》

イチオシの取り組み 

### ●ペレットストーブの利用促進 【やまなし木質バイオマス協議会】

《内容》

木質ペレットストーブは、燃料に木質固形燃料（木質ペレット）を使用するストーブです。

協議会で、ペレットストーブの住宅における性能調査を実施したところ、1台のペレットストーブでも、家の中に配管をすることによって、他の部屋も暖めることができることや、断熱性能の良い住宅では、家中全体を暖めるのに十分な温度が確保できることが分かりました。

《ポイント》

ペレット燃料は、灯油のような液体燃料と違い、漏れたり染みたりする心配がなく、手で触ることができ嫌な臭いもほとんど出ないので、取り扱いやすい燃料です。甲府市では、助成金制度があり、これまでに、多くの方が利用しています。



### （1）建物・機器による省エネの推進

《取り組みの内容》

#### ①省エネ住宅・施設等の普及促進

<本市の取り組み>

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、住宅等における温暖化対策や省エネについて身近で簡単にできる取り組みや、家庭における二酸化炭素排出の「見える化」についての情報提供

#### ②省エネ機器の普及促進

<本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度（高効率給湯器等への助成）（再掲）：助成件数 286 件

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【東京ガス山梨株式会社】

- ◆エコジョーズ導入の推進による二酸化炭素削減 :CO<sub>2</sub>削減量 223kg-CO<sub>2</sub>/台

【甲府市自治会連合会】

- ◆家庭用電池の普及

自治連合会の会議等で、家庭用蓄電池について説明を行い周知を図った。

【やまなし木質バイオマス協議会】

- ◆ペレットストーブの利用促進

住宅におけるペレットストーブの性能調査を実施し、その結果を取りまとめて、ペレットストーブの利用を希望する方の導入を促す。 :実施件数 4 件

③ LED 照明の普及促進

<本市の取り組み>

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、LED 照明導入による省エネ効果等について情報提供
- ◆防犯街路灯の設置及び LED 導入等への助成 :補助灯数 1,180 灯、CO<sub>2</sub>削減量 20.42t-CO<sub>2</sub>
- ◆甲府市地方卸売市場整備計画における照明設備をLED化に実施  
:機器導入数 30 灯、CO<sub>2</sub>削減量 16.8t-CO<sub>2</sub>
- ◆都市公園等の照明をLED化に改修(省エネ・グリーン化推進事業)  
:機器導入数 26 灯、CO<sub>2</sub>削減量 10.0t-CO<sub>2</sub>
- ◆スポーツ施設や学校等の夜間照明(水銀灯)をLED化  
1,000W(307 灯)を 312W(369 灯)のLED灯に交換  
: CO<sub>2</sub>削減量 84.04t-CO<sub>2</sub>

(2) 緑あふれるまちづくり (都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)

《取り組みの内容》

① 都市緑化の推進

<本市の取り組み>

- ◆花いっぱい緑いっぱい運動による「地域緑化」の推進(6 種類の花苗の配布)  
:配布団体数 115 団体、配布株数 107,214 株
- ◆緑化教室の開催による「家庭緑化」の推進 :開催数 5 回
- ◆自主的な美化活動を行う公園美化活動団体の設立の促進 :設立団体数 1 団体(計 24 団体)
- ◆生垣設置助成 :助成件数 3 件、生け垣の延長 43.5m
- ◆事業所等の緑化指導 :助成件数 7 件、面積 3,131.10 m<sup>2</sup>
- ◆市保存樹木制度による樹木の指定 :指定本数 9 本
- ◆新築記念としてキンモクセイの苗木を配布 :配布数 7 本

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

◆屋上緑化の実施(本部・一宮センター) :実施事業所数 2ヶ所

【NPO 法人みどりの学校】

◆屋根緑化の情報提供(小瀬エコブースでのエコクイズ、各種学習会にて)

:実施数 20 回、参加者数 1,039 人

## ②農地の活用

<本市の取り組み>

◆荒廃した農地の再生整備

農地の再生利用に向けた機械の貸付による耕作放棄地の解消

:再生整備面積 4,732 m<sup>2</sup>

◆市民農園の貸出

市民農園開発希望者に開設までの法的手続きの等への申請補助

:農園貸付数 0 区画(1 件申請手続き中)

## ③建物・道路等のヒートアイランド対策の推進

<本市の取り組み>

◆透水性舗装の推進によるヒートアイランド対策 :道路改良工事等 実施面積 387.7 m<sup>2</sup>

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

◆駐車場等の透水性緑化舗装の情報提供 :実施数 1 回、参加者数 11 人

## (3) クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等)の普及促進

《取り組みの内容》

### ①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討

<本市の取り組み>

◆公用車への電気自動車・燃料自動車の導入

:保有台数 16 台(ハイブリッド車 8 台、電気自動車 7 台、燃料電池車 1 台)

◆リサイクルフェアでクリーンエネルギー自動車の展示による普及啓発

◆公用車への低排出ガス車等(電気自動車)の導入に向けた充電設備の整備 :設置台数 1 台

◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において情報提供

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

◆社有車への電気自動車の導入 :電気自動車 3 台導入



【甲府商工会議所】

- ◆ 公用車に電気自動車を導入し、PR 活動を実施 : 電気自動車 1 台

【山梨交通株式会社】

- ◆ 社用車に、燃料電池車を導入し、水素ステーションと併せ PR 活動を実施 : 燃料電池車 1 台

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆ EV・PHVならびにV2H(Vehicle to Home)普及促進に向け、イベント等でPRを実施 : 実施数 1 回

② 充電設備、水素ステーションの整備

<本市の取り組み>

- ◆ 温暖化対策情報サイト「こうふの eco」においてクリーンエネルギー自動車や充電器の情報提供

アクションプラン5の課題

<本市の課題>

- ◆ 都市緑化の推進のため、家庭の生垣をブロック塀から生垣へ改修する際に、その費用の一部を助成する生垣設置奨励制度については、実績が少ないことから、更なるPRが必要である。

<市民、事業者、NPO の課題>

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆ 効率的な電気の使い方等のノウハウや省エネの必要性といった情報のPR方法を検討する必要がある。
- ◆ グループ会社が持つ技術(太陽光発電、マイクロ水力発電、LED化、V2H、P2Gなど)の活用など、東京電力グループとして温暖化防止に寄与できる施策を、今後関係先に積極的に提案していきたい。

【東京ガス山梨(株)】

- ◆ 更なる高効率消費機器を世の中に普及させていくために、効率性向上に向けた技術革新、価格低下に向けた諸コスト削減、認知度向上に向けたPR強化など、東京ガスグループで連携して企業努力を継続していく。

## アクションプラン6

### 持続可能な循環型社会の構築

#### 《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》

#### イチオシの取り組み

#### ●陶磁器製食器のリユース・リサイクル事業【甲府市】

##### 《内容》

甲府市では、廃棄物等の発生抑制や再利用を推進するため、家庭にある遊休陶磁器製食器を回収し、まだ使えるもの（未使用品等）は新たに使用していただける方にリユース。使用済みのもの、割れたり・欠けたりしたものは再生食器の原材料としてリサイクルしています。

##### 《ポイント》

回収した食器は、リサイクルフェアにおいて「もってけ市」と銘打って市民の方に無料配布（Reuse）しています。また、割れたり・欠けたりしたものは再生食器の原材料（Recycle）として陶磁器の生産地に搬送しています。



### （１）廃棄物の３Ｒ（Reduce・Reuse・Recycle）の推進

#### 《取り組みの内容》

#### ①分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進

##### <本市の取り組み>

- ◆有価物回収事業：自治会への報奨金交付件数 367 件
- ◆資源回収推進事業：資源物回収量 2,456t
- ◆陶磁器製食器のリユース・リサイクル事業：陶磁器製食器回収量 7.4t  
(リユース:リサイクルフェアにおいて無料配布、リサイクル:再生食器の原材料としている)
- ◆リサイクル推進員制度の活用：活動延べ人員 7,999 人
- ◆ミックスペーパー分別回収：回収量 1,598t
- ◆使用済み小型電子機器回収：回収量 7t
- ◆容器包装廃棄物(紙箱・紙袋・包装紙)の分別回収：紙製容器包装類回収量 10t
- ◆プラスチック製容器分別回収  
：その他プラスチック製容器包装回収量 678.6t(平成 28 年 12 月より市内全地区の回収を開始)
- ◆分別排出普及啓発チラシを作成・配布  
：66,891 枚 全戸配布(プラスチック製容器包装分別回収啓発用チラシ)
- ◆一般廃棄物収集運搬許可業者に対する事業系ごみの適正処理研修会の開催：開催数 1 回

- ◆中小規模事業者への訪問調査指導 : 訪問調査指導数 1,100 社
- ◆多量排出事業者に対する事業系一般廃棄物削減等の啓発  
: 実施数 1 回 減量化等計画書の提出件数 68 社

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆会員企業による共同リサイクル事業、紙類(ダンボール、新聞、雑誌、ミックスペーパー、模造紙)の分別回収再利用、廃プラ・木くずの固形燃料化 : 紙類回収量 40t 木くず・廃プラ回収量 293t

【甲府商工会議所】

- ◆会員事業所から回収したミックスペーパーを古紙再生品原料(トイレトペーパー等)として利用、リサイクルの啓発 : 古紙回収量 77,962 kg

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆商品包装等の回収の呼びかけ  
: 容器の回収率  
リユースびん[67.2%]、紙(牛乳)パック[73.1%]、ABパック[29.2%]、商品案内(カタログ)[87.1%]、注文用紙[89.0%]、ポリ袋[36.2%]、たまごパック[81.1%]、食材セットトレイ[71.5%]、ペットボトル[60.8%]

【甲府市自治会連合会】

- ◆分別の徹底によるごみの減量化(ミックスペーパー) : ミックスペーパー回収量 1,598.29t

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆事業場産業廃棄物リサイクルの推進 : リサイクル率 99%

②資源物排出の利便性の向上

<本市の取り組み>

- ◆資源物ステーションの設置  
甲府市自治会連合会と連携を継続し、地域の要望に応じて協議調整を行い、整備を進める。  
: 設置済箇所 3 箇所

③バイオマス資源の循環による活用

<本市の取り組み>

- ◆下水汚泥焼却灰の再利用 : 焼却灰搬出量 631.2t
- ◆家庭で不用になった食用油の分別回収 : 廃食用油回収量 7,980l
- ◆生ごみ処理機購入補助 : 補助件数 66 件
- ◆生ごみ発酵促進剤 EM ポカシ無料配付 : ポカシ配付実数 25,863 袋
- ◆しんぶんコンポストキットの無料配付 : キット配布数 389 件
- ◆剪定枝・落ち葉や廃食用油などのバイオマス資源の活用  
自治連合会へ落葉の堆肥化事業の取り組みの協力を依頼
- ◆食品ロス対策事業の推進(自校完結型の生ごみ排出ゼロ) : 小学校給食の残菜処分量 5.9t

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆会員企業内社内食堂より発生する生ごみの堆肥化及び、廃食用油の回収

:生ごみ発生量 11,310kg (5社で取組み) 廃食用油回収量 5,200ℓ (1社で取組み)

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆配送時に組合員から廃食油の回収 :回収量 3,000ℓ

- ◆廃食油回収 :回収量 490.3ℓ

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆生ごみの資源化の情報提供

各種学習会において、食品残さの減量、コンポスト、EM ポカシ等の発酵促進剤による生ごみの資源化等についての情報提供 :実施数 9回、参加者数 495人

アクションプラン6の課題

<本市の課題>

- ◆資源物24時間ステーションの設置について、自治連合会との連携を図る中で、候補地の選定や協議を行っているが、設置まで至っていない。

今後も自治会との連携を継続し、地域の要望に応じて協議調整を行いながら整備を進めていく。

<市民、事業者、NPO の課題>

【甲府市立公立小中学校長会】

- ◆公立小中学校においては、可燃物とミックスペーパーの分別を行っているが、プラスチックの分別は行っていない。子どもたちにもごみ減量を意識させるためにも取り組む必要があると考える。

# 地球温暖化への適応策

## 各分野における適応策の方向性

### (1) 健康被害の予防

影響	<p>熱中症による救急搬送患者が増加し、特に高齢者や子どもは重症化のリスクが高まることに加え、マラリヤやデング熱などの感染症の増加等が懸念されます。</p> <p>特に熱中症のリスクは、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなり、暑さに対する体の調節機能が低下する高齢者において高くなります。</p>
----	--

#### 《取り組みの内容》

##### <本市の取り組み>

- ◆市ホームページにおいて熱中症の症状や予防、手当てなどの情報掲載、また、熱中症予防情報関連サイトへの情報提供
- ◆ポスター掲示、庁舎前大型ビジョン・ラジオによる普及・啓発
- ◆健康づくりに関わる地区組織等での健康教室の実施
- ◆母子健康手帳発行時と乳幼児健診に、妊婦や乳幼児の保護者への普及・啓発
- ◆防災無線による注意喚起
- ◆住民の自助・共助を促す普及・啓発
- ◆クールシェアスポットの設置(市関係施設の協力)
- ◆6月1日～9月30日の夏期間中に上下水道局1階ロビーを「クールシェアスポット」として開放。希望者には「甲府の水」を配布
- ◆透水性舗装の推進によるヒートアイランド対策(再掲) :道路改良工事等 実施面積 387.7 m<sup>2</sup>

##### <市民、事業者、NPOの取り組み>

#### 【甲府市公立小中学校長会】

##### 熱中症注意喚起と熱中症予防対策

- ◆児童への熱中症予防指導(帽子着用、水筒での水分補給、汗ふきタオル持参)について、保健だより等を通じて保護者へ啓発を行った。
- ◆水筒を持参させ、体育や野外での活動の際には、こまめに水分補給の時間をとるなど、指導上の共通理解を図った。のどが渇いてからの摂取ではなく、活動時の事前摂取を徹底させた。
- ◆保健委員会児童が校内放送を使い、休み時間終了後に水分補給を呼びかけた。
- ◆職員会議において、養護教諭による熱中症の症状や予防、手当てなどについて研修を行い、熱中症予防に取り組んだ。
- ◆基本的な生活習慣を確立し、暑さに負けない体づくりを指導した。
- ◆保健体育科における熱中症の予防に関する学習や日常的な安全指導(健康観察・休憩・給水・帽子の着用等の指導)を実施した。

- ◆熱中症チェッカーで観測し、危険性が高まっている場合は屋外の活動を制限した。
- ◆インターロックの部分への水やりやプールへの遮光ネットの設置やプールサイドへの水まきなどをすることで、健康被害を予防できた。
- ◆二か所ある児童玄関にミスト噴霧装置を設置し適切な活用を図った。
- ◆緑のカーテンを職員室前で行った。
- ◆熱中症対策マニュアルを作成し教職員の共通理解を図り、熱中症対策に取り組んだ。

## (2) 自然(水)災害

影響	近年、気候変動の影響による局地的な集中豪雨により、甚大な豪雨・洪水の被害が発生しています。今後も、その頻度が増し、河川洪水の機会が増加することが予測されます。
----	---

### 《取り組みの内容》

#### <本市の取り組み>

- ◆「甲府市洪水・土砂災害ハザードマップ」並びに「わが家の防災マニュアル」による啓発活動。
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、世界各地の異常気象などの情報提供。

#### <市民、事業者、NPO の取り組み>

##### 【やまなし木質バイオマス協議会】

- ◆災害時に、電気やガスなどのインフラが止まった場合を想定して、含水率の低いすぐに燃やせる薪の備蓄の推進。また災害拠点などに、備蓄の薪と併せて薪ストーブの設置の推進。

##### 【NPO 法人みどりの学校】

- ◆再生可能エネルギーの体験学習・イベント時に、ソーラークッカー、ウッドガスストーブ、太陽光発電蓄電ライト、手回し発電ラジオ・ライトなど、日常的にも使え、災害時にも役立つことを啓発した。

##### 【甲府市公立小中学校長会】

- ◆消防防災危機管理計画に水害時の対応の記載と見直しを行った。また緊急時対応マニュアルにも水害時の対応を明示するとともに、保護者に配布し、災害発生時の対応について周知した。
- ◆防災マニュアルに、学区のハザードマップを掲載した。
- ◆台風による豪風雨の際には、教職員の付き添いで集団下校を行った。
- ◆大雨注意報、洪水注意報及び警報が発令された場合の対応の仕方について職員で確認した。
- ◆ハザードマップを参考に、児童の発達段階に応じた水害の危険性についての学習を行った。
- ◆引き渡し訓練の際、親子で危険箇所のチェックを行い報告をしてもらった。地区委員会の活動として危険箇所をチェックした。
- ◆昔から水害被害の多かった地域なので、地域の防災を担当する方から話を聞くなどの取組を行った。

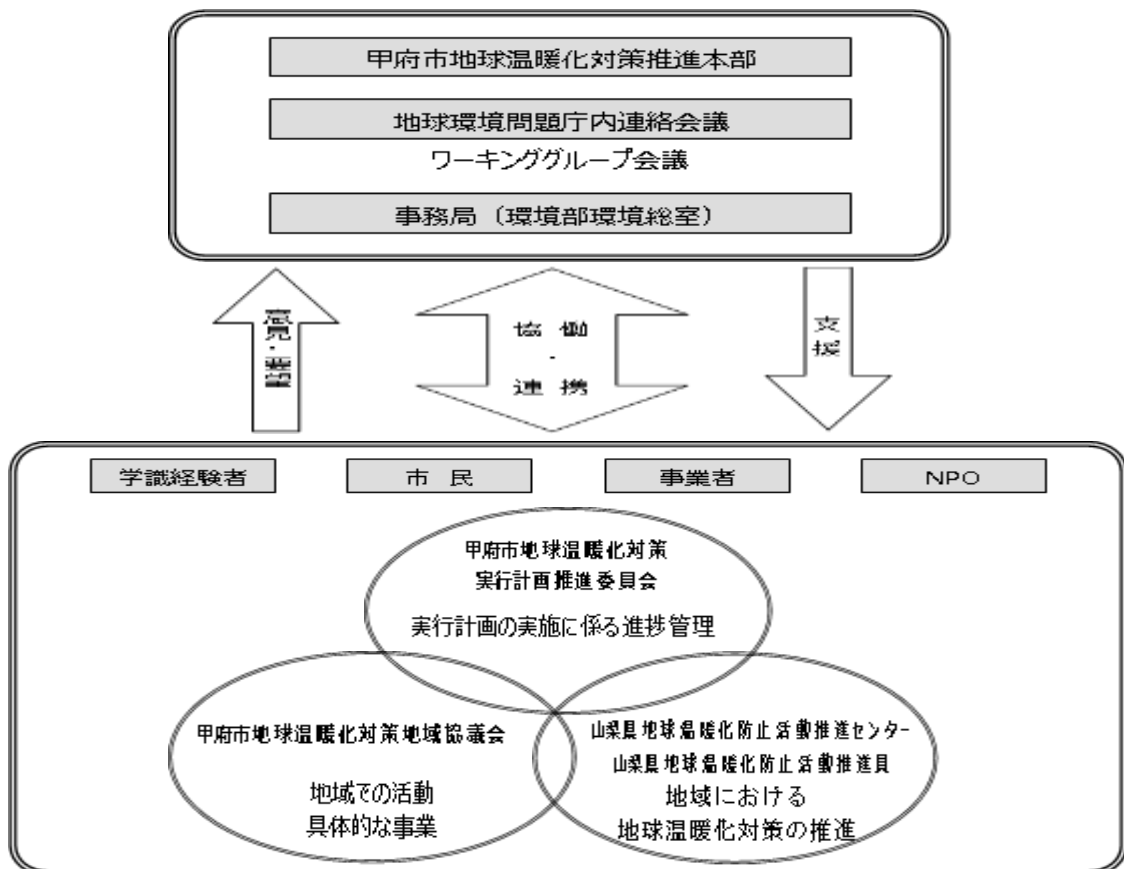
<p>◆南西中・国母小が県教委の実践的防災教育推進事業の指定を受けたことから、小中合同研修会でのDIG研修会(PTA・地域合同)、地区防災訓練(南西中・国母小・石田小)等の取組を行なった。</p> <p>◆浸水地域、液状化地域、土砂災害地域が重複している地域なので3年前から総合の時間の中で防災教育を位置付け、自助・共助・公助を学び、三年ではHUG(避難所運営ゲーム)を実施した。</p>	
<b>(3) 水環境・水資源</b>	
影響	気候変動による渇水や洪水などの水環境・水資源へのリスクが高まります。
<p>《取り組みの内容》</p> <p>＜本市の取り組み＞</p> <p>◆甲府市御岳町地内(奥御岳市有林)市民との協働による植樹活動「水源林植樹の集い」を実施した。 (再掲) 参加者数 413 人、植栽面積 0.30ha、植栽本数 900 本</p>	
<b>(4) 食料</b>	
影響	コメ、野菜、果樹等の品質低下(巨峰系品種の着色遅延、収穫期や収穫に近い品種の一部で果梗部の褐変、果粒の軟化など)の影響が懸念されます。
<p>＜本市の取り組み＞</p> <p>◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、それぞれの地域で温度変化した場合に潜在的食料生産量が低下するなどの情報提供をした。</p>	
<b>(5) 自然生態系</b>	
影響	地球温暖化は生物多様性の危機の一つと考えられ、これまで生息していた生物の生息域が変化し、私たちの身近な生活にも影響を及ぼします。
<p>＜本市の取り組み＞</p> <p>◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、気温上昇に応じた生物種の絶滅リスクの増加などの情報提供をした。</p>	



### 第3章 施策の検証

#### 1 実行計画の推進体制

- 本市では、実行計画の推進状況の検証や施策の推進方法について協議を行うため、市民、学識経験者、地元企業、団体、行政等の代表者で組織する「甲府市地球温暖化対策推進委員会」を設置しています。
- 推進委員会は、実行計画の推進に関することや進捗管理に関すること、評価及び見直しに関すること等を所掌しています。
- また、推進委員会には実行計画の専門的な調査、検討を行うための部会を設置しており、部会では、施策の進捗状況について把握し、その結果につき個別評価を行います。
- 部会で個別評価した結果については、推進委員会に付し、全体で再評価を行い、取り組みに遅れがある場合は改善策を検討します。
- 市内においては、実務担当者による「ワーキンググループ会議」、その上部機関として本市の対策を協議する「地球環境問題庁内連絡会議」、さらに地球温暖化対策に関する施策について本市が統一的かつ総合的に推進していくことを目的とした「地球温暖化対策推進本部」があります。
- 市内及び推進委員会において、実行計画の進捗管理を行うことにより、Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Act（改善）のPDCAサイクルによる施策の着実な推進を図っています。



甲府市地球温暖化対策実行計画の推進体制



## 2 甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会からの意見

- 平成30年度の「市の取り組み」及び「市域での取り組み」について、推進委員会からいただいたご意見等をアクションプランごとにまとめました。
- いただきましたご意見等を踏まえ、実行計画の施策や取り組みを推進していきます。

<b>全体に対する意見</b>
<p>■地球温暖化対策には、「緩和策」と「適応策」があります。「緩和策」は地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を削減して地球温暖化の進行を食い止めるための取り組みで、「適応策」は緩和策に取り組んでも地球温暖化の影響が避けられない場合、その影響に対して自然や人間社会のあり方を調整していく取り組みのことです。甲府市地球温暖化対策実行計画の策定時には、CO<sub>2</sub>の排出を削減する取り組みである「緩和策」を中心に取り組んできましたが、地球温暖化の進行は止まらないのが現状です。こうした中、これからの重要な取り組みは、地球温暖化の進行により生じる、健康被害の予防としての熱中症対策や自然(水)災害として豪雨や洪水への対策など、どうやって災害等から身を守るかということが重要となってきますので、適応策として取り組みのある担当部署はその対応を明確にする必要があると思います。</p>
<b>アクションプラン1 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進</b> <b>《人づくり・地域づくり・協働の推進》</b>
<p>■各学校で、それぞれの環境や特色を活かして、様々な環境教育に取り組んでおり、学校で子ども達が学んだことを、家庭に帰って保護者の方と一緒に取り組むことが大事だと思います。また、学校での取組は市民の方にも参考になるので、具体的な取組の内容について情報提供していくことも重要だと考えます。</p>
<b>アクションプラン2 再生可能エネルギーの導入・普及促進</b> <b>《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》</b>
<p>■山梨県、東レ(株)、(株)東光高岳、東京電力ホールディングス(株)の相互連携による、CO<sub>2</sub>フリーの水素エネルギー社会の実現に向けた、P2G(Power to Gas)システムの技術開発及び実証実験などの取組については、今後の研究成果に期待します。</p>
<b>アクションプラン3 潤いある森林の整備</b> <b>《森林整備》</b>
<p>■「水源林植樹の集い」は、参加してみると大変楽しめるイベントであります。各種団体の参加者が多く、自発的に参加している一般の方は少ないと思います。もっと上手にPRして参加者を増やし、環境に対する意識の向上へ繋げていただきたいと思います。</p>

<p><b>アクションプラン4 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動</b></p> <p style="text-align: center;">《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》</p> <p>■緑のカーテンづくりは、ゴーヤや朝顔によるものが一般的ですが、地域の特産である「ぶどう」でも作ることが出来ます。ゴーヤなどに比べて育てるのに時間が掛かりますが、毎年植え替える必要もなく、育ててみると手入れも意外に簡単なのでPRすれば広がっていくと思います。</p>
<p><b>アクションプラン5 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換</b></p> <p style="text-align: center;">《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》</p> <p>■家庭の生垣緑化や事業所の緑化推進の助成制度について、利用件数が少ないので、もっと広報等で周知をしてみてもどうでしょうか。</p>
<p><b>アクションプラン6 持続可能な循環型社会の構築</b></p> <p style="text-align: center;">《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》</p> <p>■持続可能な循環型社会を構築するためには、廃棄物の3R(Reduce(リデュース:発生抑制)・Reus(リユース:再利用)・Recycle(リサイクル:再資源化))の推進が必要です。ごみの分別は大切ですが、ごみにならない方法、Reduce(発生抑制)・Reuse(再利用)への取組について、もっと考えていく必要があると思います。</p>

### 3 Act（改善）の方向性

- 本報告書では、重点プロジェクトである「6つのアクションプラン（緩和策）」と「適応策」に関する平成30年度の施策及び取り組みの実施状況等を取りまとめている。6つのアクションプラン（緩和策）においては、数多くの施策や取り組みが実施されているが、いくつかの項目では未実施や取り組みが進んでいない項目もある。また、6つのアクションプラン（緩和策）に取り組んでも温暖化の影響が避けられない場合、その被害を少なくするための対策である適応策については、既に発生している温暖化の影響や温暖化の進行による中長期的な変化を踏まえる中で計画的に取り組みを進めて行くことが必要である。これらの取り組みについては、それぞれの状況や課題等の解決に向け、地域の特性や実情を踏まえることで、より実効性を持たせ、温室効果ガス削減への取り組み強化を図っていく。また、本報告書の情報提供方法についても検討し、取り組み状況や実施方法などがより多くの人へ更に周知されるよう、市民、事業者等への情報提供、共有についても推進していく。

## 【資料（1）】甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会の委員名簿

（委嘱期間：平成30年12月26日～令和2年12月25日）

代表区分	氏名	所属
学識経験者	〈委員長〉 鈴木 嘉彦	山梨大学名誉教授
	〈副委員長〉 箕浦 一哉	公立大学法人山梨県立大学教授
	砂田 英司	山梨県エネルギー局エネルギー政策課 課長
地域関係者	萩原 爲仁	山梨みらい農業協同組合 代表理事常務
	角田 義一	中央森林組合 代表理事組合長
	高根 明雄	協同組合同母工業団地工業会 専務理事
	野口 英二	甲府商工会議所 環境問題委員会 副委員長
	望月 真	山梨交通㈱ 総務部 部長
エネルギー 供給者	斉藤 健三	東京電力パワーグリッド㈱山梨総支社 渉外担当次長
	大石 公太	東京ガス山梨㈱ 取締役 企画総務部長
教育関係者	篠原 弘一	甲府市公立小中学校長会 甲運小学校長
市民団体	梅原 隆子	生活協同組合パルシステム山梨 理事長
	芦澤 公子	特定非営利活動法人みどりの学校 理事長
	石井 迪男	甲府市地球温暖化対策地域協議会 副会長
	鳥屋尾 健	山梨県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 (公益財団法人キープ協会 環境教育事業部事業部長)
	志沢 美香	やまなし木質バイオマス協議会 事務局
市民代表	佐野 善臣	甲府市自治会連合会 副会長

【資料（2）】

平成28年度からの重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）

重点プロジェクト		
<p>人づくり・地域づくり（サステイナブルな社会の創造）・日々の暮らし（スマートライフ）</p>	<p><b>アクションプラン1</b></p> <p><b>環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進</b>                      《人づくり・地域づくり・協働の推進》                      （環境教育・生涯学習・協働）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境教育の推進</li> <li>2. 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進（産学官民協働の推進）</li> </ol>
	<p><b>アクションプラン2</b></p> <p><b>再生可能エネルギーの導入・普及促進</b>                      《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》                      （再生可能エネルギーの導入）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太陽エネルギーの活用</li> <li>2. バイオマスエネルギーの活用</li> <li>3. 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用</li> </ol>
	<p><b>アクションプラン3</b></p> <p><b>潤いある森林の整備</b>                      《森林整備》                      （森林の整備）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）</li> </ol>
	<p><b>アクションプラン4</b></p> <p><b>地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動</b>                      《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》                      （ライフスタイルの転換）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 省エネ行動の普及促進</li> <li>2. 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進</li> </ol>
	<p><b>アクションプラン5</b></p> <p><b>賢く、快適な低炭素型都市構造への転換</b>                      《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》                      （低炭素な都市への転換・緑化の推進）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建物・機器による省エネの推進</li> <li>2. 緑あふれるまちづくり（都市緑化・ヒートアイランド対策の推進）</li> <li>3. クリーンエネルギー自動車等の普及促進</li> </ol>
	<p><b>アクションプラン6</b></p> <p><b>持続可能な循環型社会の構築</b>                      《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》                      （持続可能な社会の形成）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 廃棄物の3R（Reduce・Reuse・Recycle）の推進</li> </ol>
<p><b>地球温暖化への適応策</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康被害の予防</li> <li>2. 自然（水）災害</li> <li>3. 水環境・水資源</li> <li>4. 食料</li> <li>5. 自然生態系</li> </ol>	

緩和策（6つのアクションプラン）

適応策

【2050年の甲府市の姿】スマートシティ 甲府の創造

※サステイナブルな社会『持続可能な社会』



甲府市地球温暖化対策実行計画  
平成 30 年度年次報告書

編集・発行/甲府市環境部環境総室環境保全課

〒400-0831 山梨県甲府市上町 601-4  
TEL055-241-4312 FAX055-241-6190

甲府市ホームページ

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp>

甲府市温暖化対策情報サイト「こうふの eco」  
<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/smartcity/>